

科目名称：	音楽表現指導法Ⅰ/実習Ⅰ		
担当者名：	上野 高裕、水上 和子		
区分	授業形態	単位数	
専門教育科目	演習	1	
授業の目的・テーマ			
音楽表現実習として保育・幼児教育の現場観察を学ぶため、大短連携事業である「KINJOおやこひろば」での実践を試みることで、音楽活用の現状を知り、新たな表現を模索し、表現の実践幅を広げる。また、ミュージックベルの演奏法を経験し、保育現場での新たな可能性を模索する。基本的には履修者を1講時と2講時の2つグループに分割し、音楽表現指導法Ⅰと入れ替えにして行う。			
授業の達成目標・到達目標			
<ol style="list-style-type: none"> 1. 子どもの発達をふまえた表現活動の指導ができるようになる。 2. 子どもの表現活動に必要な知識と技術を身に付け、演奏に応用することが出来る。 3. 乳児期の音楽的な成長と発達を理解し、年齢ごとの特徴について説明することが出来る。 			

幼児教育学科	ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与の方針）	重点項目
DP(1)	自己理解を深め目標に向かって主体的に行動するとともに、多様性を尊重し、子ども・保護者・地域住民との良好な信頼関係を築いていくことができる。	
DP(2)	保育・幼児教育を取り巻く様々な問題に取り組み幅広い教養を身につけるとともに、変化する社会に対応するための協働的な実践力を身につけている。	
DP(3)	保育・幼児教育の分野において、基礎知識を身につけるとともに、使命感、倫理観、責任感をもって専門的な知識や技能を修得し、これらを柔軟に活用していくことができる。	○

評価方法/ディプロマポリシー	定期試験	クイズ 小テスト	提出課題 (レポート含む)	その他	合計
幼児教育DP(1)					0
幼児教育DP(2)					0
幼児教育DP(3)			40	60	100
					100

実務経験のある教員の担当	担当教員の実務経験の内容（内容・経験年数を記載）	
なし	《内容1》	《経験年数1》
	《内容2》	《経験年数2》
	《内容3》	《経験年数3》
	《内容4》	《経験年数4》
備考		

評価ルーブリック	すばらしい	とてもよい	よい	要努力
受講態度	意欲的、自発的でありとても熱心である。	指導をうけた事を吸収しようとする。	アドバイスをすると前向きにとらえる事が出来る。	欠席せず、受講の態度の改善を必要とする。
表現意欲	現場で、即実践できる様に知識や技能を高める工夫がみられる。	アピールしようとしている。	やや積極的である。	積極的になるよう努力を要する。

授業の内容・計画	事前事後学修の内容	事前事後学修時間
第1回 授業の内容と予定の確認	シラバスの熟読	30分
第2回 各年齢に合わせた音楽表現活動を実習に向けて、保育教材制作を中心に①	豊かな表現活動に必要とされる音楽表現の分野の意識について理解を深めておく	40分
第3回 各年齢に合わせた音楽表現活動を実習に向けて、保育教材制作を中心に②	豊かな表現活動に必要とされる音楽表現の分野の意識について理解を深めておく	40分
第4回 外部講師によるパネルシアター講習	自身のパネルシアターを発表できるようにしておく	50分
第5回 制作した保育教材を使用したのグループワーク①	制作した保育教材を使った音楽表現活動ができるようにしておく	40分
第6回 制作した保育教材を使用したのグループワーク②	制作した保育教材を使った音楽表現活動ができるようにしておく	40分
第7回 各年齢に合わせた音楽表現活動について、ミュージックベルの可能性を探る①	幼児の音楽活動で用いられる楽器と奏法について調べておく	40分
第8回 各年齢に合わせた音楽表現活動について、ミュージックベルの可能性を探る②	幼児が演奏する立場として、指導する側に注意すべきことを理解しておく	40分
第9回 各年齢に合わせた音楽表現活動について、ミュージックベルの可能性を探る③	幼児が演奏する立場として、指導する側に注意すべきことを理解しておく	40分
第10回 ミュージックベルの演奏発表会	発表の準備と練習をしておく	40分
第11回 大短連携事業「KINJOおやこひろば」での実践演習準備①	音楽表現の楽曲を準備し、見通しを持って準備を進めておく	40分
第12回 大短連携事業「KINJOおやこひろば」での実践演習準備②	音楽表現の楽曲を準備し、見通しを持って準備を進めておく	40分
第13回 大短連携事業「KINJOおやこひろば」での実践演習準備③	音楽表現の楽曲を準備し、見通しを持って準備を進めておく	40分
第14回 「KINJOおやこひろば」での音楽表現の実践演習	小グループや数人のグループで発表を行うとともに、乳幼児との関わりを深める	60分
第15回 「KINJOおやこひろば」での音楽表現の実践演習の反省	後期の実践演習に備えるよう反省点を見つけ、今後の課題としておく	60分
事後学修時間については、受講するにあたっての最低限の目安を明記したが、単位取得のためには原則として授業時間と事前事後学修を含め学則第17条の2で規定された学修時間が必要である。		
成績評価の方法・基準		
定期試験は、実施しない。その他の評価配分は、以下のとおりである。		
保育教材制作、ミュージックベルをはじめとする幼児楽器の演奏技術や知識、大短連携事業の取り組みのまとめにて評価 保育教材制作と楽器奏法など60% それぞれのまとめ40%		
課題に対するフィードバック		
保育教材制作作品、実践演習のまとめはチェックして返却。楽器演奏や実践演習での感想及び反省会にて内容の指導を行う		
教科書・参考書		
参考資料、楽典楽譜などは適宜配布する。		